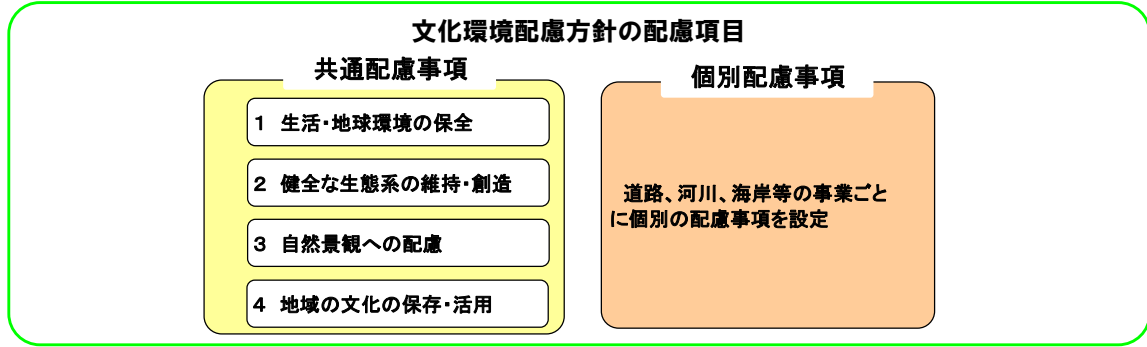


## 令和4年度 文化環境評価システムの取組結果について

### 1 文化環境評価システムとは

県が公共事業等のハード事業を行う際に、「文化環境配慮方針(共通・個別配慮事項)」に基づき、環境負荷の軽減と地域文化の保存・活用を継続的に行う全庁的なシステムとして平成11年4月1日から実施しています。  
事業費が一定規模以上の対象工事について、工事発注前に検討会を行い、より効果のある環境配慮を検討し、工事後は実施できた環境配慮について情報発信・情報共有に努めていく取組を行っています。



### 2 令和4年度完了事業一覧(前年度以前からの繰越工事含む)

事業	検討年度	工事名
河川	H27	伊尾木川河川改修工事
河川	R1	弘見川河川改修事業
一般道路	R1	国道439号(大木絆第一橋)防災・安全交付金工事
治山	R2	三谷復旧治山事業
ほ場	R3	野友地区農業競争力強化農地整備事業
ほ場	R3	庄毛地区農業競争力強化農地整備事業(ほ場整備工事)
ほ場	R3	加持地区機構関連農地整備ほ場整備工事
ほ場	R3	加持地区機構関連農地整備ほ場整備その2工事
林道	R3	中村・大正線3工区幹線林道開設事業
林道	R3	橋原・東津野線幹線林道開設事業
林道	R3	旭・天狗高原線1工区幹線林道開設事業
林道	R3	旭・天狗高原線2工区幹線林道開設事業
林道	R3	上名・用居線2工区幹線林道開設事業
林道	R3	畑山仲木屋線1工区森林基幹道開設事業
林道	R3	土居柳野線4工区森林基幹道開設事業
林道	R3	寒風大座礼東線1工区森林基幹道開設事業
林道	R3	越裏門大森線1工区森林基幹道開設事業
治山	R3	朝谷復旧治山事業
治山	R3	小日浦復旧治山事業
治山	R3	空池復旧治山事業
治山	R3	下桃原復旧治山事業
治山	R3	別府No4復旧治山事業
治山	R3	東川復旧治山事業
治山	R3	小日浦復旧治山工事
治山	R3	浦越復旧治山工事
その他公園	R3	カルストキャンプ場等再整備工事
漁港	R3	安芸漁港水産生産基盤整備工事
港湾	R3	高知港(三里地区)重要港湾改修事業

### 3 具体的な施工事例について（抜粋）

<p style="text-align: center;"><b>漁港</b></p> <p><b>安芸地区(安芸漁港)水産生産基盤整備事業</b></p> <p><b>【事業概要】</b>            安芸漁港 沖防波堤 L=17.0m            基礎工 L=16.9m            被覆・根固工 被覆ブロック製作 N=30個                              根固ブロック製作 N=6個            本体工 L=17.0m(ケーソン据付 N=1函)                      (ケーソン:2308t/函、設置水深8.0m)            上部工 L=17.0m</p> <p>本工事においては、工事要因の海中への濁水流入を最小限に抑え、周辺環境への影響の低減に努めた。</p> <p><b>【主な環境配慮】</b>            ・騒音・振動・水質汚濁等の防止対策徹底</p>	<p style="text-align: right;">安芸市津久茂町</p>  <p><b>【騒音・振動・水質汚濁等の防止対策徹底】</b>            ・ケーソン中詰材投入の施工にあたり、事前にケーソン隔室内の海水を可能な限り排水することで、オーバーフローする濁水を最小限に留めた。</p>
<p style="text-align: center;"><b>林道</b></p> <p><b>■幹線林道開設事業 旭・天狗高原線1工区工事</b></p> <p><b>【工事概要】</b>            林道開設 L=39m            土工 切土 7,731㎡ 盛土 3,390㎡ 捨土 4,152㎡            法面保護工 植生基材吹付工 125.3㎡            擁壁工 補強土壁 230.6㎡            排水施設工 プレキャスト側溝(U型) 28.5m                              暗渠排水管(φ800) 14.3m            防護施設工 ガードレール(Gr-C-2B直線) 29m                              ガードレール(Gr-C-2B曲線) 8m                              ガードレール(Gr-C-4E直線) 4.5m</p> <p>本工事においては、周辺環境との調和や景観に配慮し、緑化可能工法の採用や現地発生土や自然景観になじむ材料の有効利用に努めた。</p> <p><b>【主な環境配慮】</b>            ・林道と周辺の景観との調和            ・生物の生息環境、生態系への配慮            ・自然景観になじむ材料の有効利用</p>	<p style="text-align: right;">吾川郡仁淀川町別枝</p>   <p><b>【林道と周辺の景観との調和】</b>            ・開設区間の切土部には植生基材吹付工を施工し、緑化をすすめる周辺景観との調和を図った。</p> <p><b>【自然景観になじむ材料の有効利用】</b>            ・土羽台擁壁に補強土壁工法を採用し、現地発生土を有効活用した。            ・ガードレールに通常白色の物を施工するが、周辺の自然景観に配慮し茶色の物を施工した。</p>
<p style="text-align: center;"><b>一般道路</b></p> <p><b>■国道439号防災・安全交付金(大木絆第一橋)工事</b></p> <p><b>【工事概要】</b>            大木絆第一橋上部工            鋼2径間連続非合成箱桁橋            橋長 L=157.5m、鋼重 W=696t            斜角=60°(A2側)、有効幅員 W=8.5m            製作工N=1式 架設工N=1式 橋梁付属物N=1式</p> <p>国道439号「木屋ヶ内バイパス」は、重要文化的景観の「四万十川流域の文化的景観」の区域であり、工事の実施においては、重要な構成要素の保全を図った。            保全対象: 橋原川周辺の景観及び橋原川の水質</p> <p><b>【主な環境配慮】</b>            ・周辺景観に調和する工作物のデザインの採用            ・騒音・振動・水質汚濁等の防止対策徹底</p>	<p style="text-align: right;">四万十町木屋ヶ内</p>     <p><b>【周辺景観に調和する工作物のデザインの採用】</b>            ・橋梁上部桁に使用する材料については、耐候性鋼材を使用したことにより、周辺との景観の調和を図った。            ・橋梁付属品として、高欄(防護柵)については景観色(ダークブラウン)を使用することにより景観の調和を実施した。</p> <p><b>【騒音・振動・水質汚濁等の防止対策徹底】</b>            ・仮設道路の盛土材料に河川の砂利を使用することで、河川の水質汚濁を極力少なくするよう努めた。            ・下流への濁水流下防止対策として、汚濁防止フェンスを設置し水質保全に努めた。</p>